

会議録

会議の名称	西東京市障害児教育検討懇談会（第14回）
開催日時	平成18年5月22日 午後1時30分から午後3時10分まで
開催場所	保谷庁舎 保健福祉総合センター・防災センター6階講座室2
出席者	<p>【出席委員】（座長）八木澤俊孝、（副座長）宮沢春好、 兵藤紫都子、北爪みどり、秋本篤哉、川合真理子、 藤平洋子、足立善朗、高野 富、大野雅生、蚊野秀明、 清水静雄、吉田 勉、伊藤伊都子</p> <p>【欠席委員】細井邦夫、稲津 明、屋宮茂穂、小坂和弘</p> <p>【事務局】（学務課長）富田和明、（教育相談課長）長澤和子、 （学務係）田島康介</p>
議題	1 西東京市における特別支援教育の在り方 「西東京市障害児教育検討懇談会最終報告（案）」の修正箇所について
会議資料の名称	<p>1 西東京市における特別支援教育の在り方についての検討（西東京市障害児教育検討懇談会 最終報告案） 見え消し修正版</p> <p>2 西東京市における特別支援教育の在り方についての検討（西東京市障害児教育検討懇談会 最終報告案）</p>
記録方法	発言者の発言内容ごとの要点記録
会議内容	
<p>議題1 懇談会最終報告（案）の修正箇所について</p> <p>座長 ただいまから、第14回障害児教育検討懇談会を開会する。議題1、「西東京市障害児教育検討懇談会最終報告（案）」の修正箇所について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局 第13回会議で出た意見と、その後、委員から提出された意見を加味したものが、資料1である。今日は、最終の検討を行い、懇談会最終報告としたい。 資料2を読み上げるので、各委員は、資料1をご覧になって確認していただきたい。 （資料2を読み上げ）</p> <p>「はじめに」</p> <p>座長 まず、「はじめに」の部分でご意見はあるか。</p> <p>委員 「含む」を「含め」にしたのはなぜか。</p> <p>事務局 国や東京都の表現に合わせた。</p> <p>座長 「含め」の方が、広い範囲ではないかと思う。そのような説明でよろしいか。</p>	

「 1 校内体制について」

座長

次に、「校内体制について」の部分でご意見はあるか。

委員

なし

「 2 特別支援教室（仮称）について」

座長

次に、「特別支援教室について」の部分でご意見はあるか。

委員

なし

「 3 盲・ろう・養護学校との連携について」

座長

次に、「盲・ろう・養護学校との連携について」の部分でご意見はあるか。

委員

なし

「 4 副籍について」

座長

次に、「副籍について」の部分でご意見はあるか。

委員

なし

「 5 関係機関及び地域との連携について」

座長

次に、「関係機関及び地域との連携について」の部分でご意見はあるか。

委員

前回会議で、できれば連携先の中に、親の会とかNPO法人とかの名称を入れていただきたいと提案した。国のまとめでも、特別支援教育連携協議会の設置を記載している。地方に下ろしてきたときに、必要になってくるのではないか。

委員

小学校へ入学する子に対する保育園児の情報が届いていないという話が、以前出ていたと思うが、今年の入学についてはいかがか。

委員

今年は、行っていない。

委員

幼稚園・保育園ごとに、対応が異なっている。

委員

幼稚園ごとに異なる。小学校から積極的には動いていない。

委員

本校も、同じである。

委員

個人ごと、連絡がきた場合に対応している。

委員

5 ページ 2 行目、「市教育委員会」から「西東京市」へ変更したのは、市全体で、ネットワークを構築しているからだと思うが、今後主体となる部署が不明確になっていると思う。特別支援教育の中心は、市教育委員会ではないか。

事務局

主体については、まだ、課レベルではっきりしていない。相談機能ネットワークについては、市教育委員会が事務局なのではないか。

委員

以前、資料にあった図は、市教育委員会が中心なのではないか。

事務局（長澤課長）

あの図は、教育相談課が事務局なのだが、総合計画策定の時に、たまたま教育相談課が事務局を担った。実状は、それぞれの相談の核となる部署がこのネットワークを利用して動いている。

委員

コーディネーターの必要性を感じる。相談機能は、どれだけ分かりやすいものを、利用する市民に提示するべきではないかと思う。

座長

今の論議の部分は、議事録に残しておくように。

委員

教育委員会が主語でないなら、「小学校・中学校」が無いのはおかしい。

事務局

NPOは、地域に分類されるということか。

委員

学校を出たとき、親としてはNPO法人に頼らざるを得ない。関連団体の中に、NPOは入れられないか。中教審の最終報告26ページ上段に記載してある。

事務局

その表現を確認の上、明記します。最終的には、座長、副座長に確認します。

座長

個々の団体を挙げると、きりが無いのではないか。

委員

特定の親の会のことを言っているのではなくて。

座長

10年くらい前、情報を出したら、問題になったことがあった。検討しながら、文章化するのが難しいところである。思っていることは分かる。

委員

保護者を連携先として考えないといけない。親も支援者の一人だと思う。保護者たちの集団がかかわっていかなければならないのではないかな。

委員

いずれ、西東京市の中でも、特別支援教育連携協議会を作るだろうが、あまり細かくすると、全部になってしまうのではないかな。

事務局

5ページの記載は、今現在のネットワークに、今後想定されるものを加えたものである。

委員

このまとまったものは、教育長へこれが渡った段階で、この懇談会は終わりかな。

事務局

国が見た都道府県に示した協議会のモデルである。それが市に落とし込んだときということでは、親の会が参加するというのは確かにあるかなと思う。

委員

前回会議では、PTAと表現した。PTA等と市教委の間で連携が取れていないようなので。

委員

連携先の中で、小・中学校は、市教育委員会に含まれているのではないかな。もう1点、前回会議では、市民の意見を踏まえるという表記は、「はじめに」部分に入れるということにしたのではなかったかな。

委員

5ページには、主語があったほうが良いのではないかな。西東京市の中で、特別支援教育を推進していくために、教育委員会が地域連携の形を作る、と主語を入れてはどうか。

座長

議事録に残してもらおう。できるだけ、取り上げられるようにして、文章を作る、ということではいかがかな。まだ、動いている部分があるので、限定しない方が良い。事務局に聞くが、これを教育長へ報告したあと、外へ出ることはあるのかな。

事務局

教育委員会と、情報公開に出る。

委員

議事録としては、ホームページで公開されているが、インターネットから資料がとれない。資料として、ダウンロードできるようにならないか。どこもかしこもできないので。

事務局

他の審議会等でも、そのような取り扱いはしていない。

委員

やって良いことは、どこからやっても良いと思うが。

座長

先ほどの議論は、詰めた上で、報告にまとめるということによろしいか。

委員

幼稚園は、公立か、私立か。保育園は、公立か、私立か。小・中学校が市教委の下部組織として含まれるならば、保育園、児童館、学童クラブなども省略して良いのではないか。

座長

言語の問題と、親の会の問題は、注意して行います。それでは、次に進む。

「6 理解啓発について」

座長

次に、「理解啓発について」の部分でご意見はあるか。

委員

6 ページに、3 か所訂正がある。8 行目「を」「の」、13行目「を」「に」、18行目「し」「は」と直す。それと、「はじめに」部分で、下から2-3行目を「～広く西東京市の特別支援教育に対する理解を推進し、西東京市の～」としてはどうか。

委員

児童生徒に、点「・」を入れるかどうか統一しないといけない。

座長

事務局と各委員で見直してほしい。

全体を通して

委員

全体をとおして3点ある。1点目、市教育委員会内に専門家チームを設置し、とあるが確実か。2点目、通級指導学級には触れていないが、触れる必要があるのではないか。3点目、副籍について、この主語は、都立養護学校が主語になっていると思うが、固定学級の子にとっても、そのことが触れられるといいなと思った。

事務局

固定学級の子も必要だと思うが、ここでは、東京都の推進計画を受けているので、この様な記載になる。また、国、東京都は、通級指導学級については触れていない。さらに、平成19年度予算が絡む事項については、現時点では約束できない。

委員

相談窓口の連携が取れていることを保護者が知らない面もあるので、周知することが必要と思う。相談者側が満足すると、その後、良いながれになるので、誰にでも相談してもらえる体制を大切にしてもらいたい。これは重要だと思うので、実施体制の中で事務局で考えてもらいたい。就学指導委員会や通級入級委員会には専門医がいるので、常に役所に相談すればつないでくれるようになれば良い。学校へ相談できない親もいるので、親が足を運びやすい様な相談体制づくりをお願いしたい。

座長

何らかの工夫をした形でまとめたい。

委員

教育相談課としても、医療機関などと連携しているが、そのことを広報するのは年1回位である。広報活動の重要性は感じている。

委員

6ページ、9行目「市教育委員会や」は、いらぬ。

座長

私と事務局で修正し、教育長へ報告させてもらう。最終文書は、委員へ送る。本日の議題は以上である。

(挨拶)

それでは、障害児教育検討懇談会を終了する。